












防災訓練の主なメニュー 一覧

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	目安時間	場所担当	状況	実施要件
A 共通訓練							
1	避難所への避難訓練	災害が起きた際に避難所へ、円滑に避難できるようにします。また、地域住民の安全確認も行います。	各地区で決められた公園などの集合場所から、避難経路を確かめながら、避難所へ集団で避難します。訓練開始となる地震発生の訓練放送を、防災行政無線を使い流すことができます。	20分	防災危機管理課		津波災害警戒区域や、土砂災害警戒区域等がある地域では、その要件に合った避難行動を学びます。
B 避難所運営訓練							
1	総務班	避難所生活で必要となる班行動について学びます。	避難者の受付訓練を行います。	20分	防災危機管理課		避難所内(屋内)での実施
2	保健・衛生班	避難所生活で必要となる班行動について学びます。	避難所生活で重要なトイレの設営訓練を行います。	20分	防災危機管理課		避難所内(屋内)での実施
3	要配慮者支援班	避難所生活で必要となる班行動について学びます。	要配慮支援者のための、ダンボールベットや間仕切りテントの組み立て訓練を行います。	20分	防災危機管理課		避難所内(屋内)での実施
4	防災倉庫資機材展示取扱説明	防災倉庫に資機材としてどんなものが準備してあるかを知り、いざというときに使用できるようにします。	防災倉庫に収納してある資機材の展示をします。	自由見学	防災危機管理課		防災倉庫所在地近辺で訓練を行う場合に限りです。

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	目安時間	ポイント担当	状況	実施要件
C 消火・救助・救護訓練							
1	震災対策用資機材展示確認	震災対策用資機材としてどんなものがあるかを知り、いざというときに使用できるようにします。	自主防災会に配布してある震災対策用資機材の点検及び確認をします。	15分	予防課		
2	消火器訓練(標的使用)	火災が起きたときに適切な対応が取れるようにします。	訓練用消火器を使用し、火点となるものを倒します。	15分	予防課		・5m×20m四方(20㎡程度)のスペースが必要です。
3	水バケツ消火訓練	火災が起きたときに大勢の人で協力して、適切な対応が取れるようにします。	2列になり、1列は用水に溜めた水をバケツにくみ上げリレーし火点にかけ、もう1列は空のバケツを用水までリレーし戻します。	15分	予防課		・5m×20m四方(100㎡程度)のスペースが必要です。 ・200リットル程度の水源が必要です。
4	濃煙訓練	火災が起きたときに火災の煙から適切に避難できるようにします。	煙を充満させたハウスを通り、火災による煙からの避難を疑似体験します。(煙は無害の訓練用のものを使います。)	15分	予防課		・10m×5m四方(50㎡程度)のスペースが必要です。 ※コミュニティ単位のみ
5	救出救護訓練	身近にある防災資機材の使用方法を習得し、いざというときに救出及び救護をできるようにします。	倒壊建物の下敷きになった人を防災資機材を使って救出し、救護します。(マネキンを使用します)	30分	予防課		
6	心肺蘇生法	心臓が停止したときにAEDの取り扱いを含む心肺蘇生をできるようにします。	胸骨圧迫、人工呼吸の方法、AEDの使い方を学びます。(あっぱくん等を使います)	30分	消防署		
7	応急手当	三角巾を使ってケガの応急手当ができるようにします。	三角巾を使用し、新聞紙や座布団等を活用した骨折の手当の仕方や止血の方法及び包帯の基本的な巻き方を学びます。	30分	予防課		

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	目安時間	ポイント担当	状況	実施要件
8	応急担架、搬送法訓練	けが人を適切に運ぶことができるようにします。	けが人や要配慮者を一人で運ぶ方法や複数人で運ぶ方法、また家庭にある毛布を使って搬送する方法、簡易担架の作り方を学びます。	20分	予防課		
9	ロープ結び訓練	荷物の上げ下ろしや、人を救出するとき、適切にロープが結べるようにします。	荷物の上げ下ろしや、人を救出するときの命綱など、ロープの結び方、使い方を学びます。	30分	予防課		
10	警戒警備	集団避難の際に地区内の警戒警備を行います。	一時避難所から小学校への避難状況を消防団がサポートします。	避難開始から完了まで	庶務課 (消防団)		
11	消火器訓練 (標的使用)	火災が起きたときに初期消火活動が行えるようにします。	訓練用消火器を使用し、火点となる的を倒します。	15分	庶務課 (消防団)		・5m×20m四方(20㎡程度)のスペースが必要です。 ※コミュニティ単位のみ
12	消防車の展示・説明	消防車を見学し、災害発生時の消防団の活動について知識を深めます。	消防団の所有する消防車について、展示、説明を行います。	10分	庶務課 (消防団)		
13	救助資機材の使用訓練	救助資機材の使用方法を学びます。	救助資機材の使用の実演、体験をします。	20分	庶務課 (消防団)		※コミュニティ単位のみ

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	目安時間	ポイント担当	状況	実施要件
D 防災危機管理課、予防課、各種団体との調整が必要な訓練							
1	炊出し訓練	災害時に多くの人に食事を提供するための炊き出しの方法を学びます。	ハソリを用いた炊飯(直炊、ハイゼックス)、を実際に行うほか、ハソリを使わない炊飯方法等についての説明を受けます。	120分	知多市赤十字奉仕団		・訓練場所は水道の近くに限ります。
2	サバイバル炊飯	電気、ガスが使えないときに、身近のもので、コンロをつくることができるようにします。	空き缶でコンロをつくり、ご飯を炊く実演を行います。	120分	市内防災ボランティア団体		
3	防災講演	防災に関する知識を深めます。	防災に関わる様々な人の話を聞き、防災の知識を深めます。	応相談	市内防災ボランティア団体		
4	地震防災の講話	日頃からの地震への備えについての知識を深めます。	日頃からの地震に備えについて、説明をします。	応相談	防災危機管理課		
5	火災予防の講話	火災予防について学びます。	住宅防火について、説明をします。	応相談	予防課		

番号	訓練項目名	目的	訓練概要	目安時間	場所・担当	状況	実施要件
E 八幡出張所市民体験コーナー							
1	八幡出張所 市民体験コーナー 地震訓練	地震の揺れを体験し、地震の恐ろしさを体感するとともに身を守る方法を学びます。	地震体験装置で、過去に起きた地震を体験します。	30分	消防署八幡出張所		
2	八幡出張所 市民体験コーナー 煙避難訓練	火災が起きたときに火災の煙から安全に避難できる方法を学びます。	濃煙室を使い、火災による煙からの避難を疑似体験します(煙は無害の訓練用のものを使います)。	30分	消防署八幡出張所		
3	八幡出張所 市民体験コーナー 応急手当訓練	急病人やケガ人に行う、様々な手当を学びます。	訓練用の人形を使い、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDの使い方を学びます。	30分	消防署八幡出張所		
4	八幡出張所 市民体験コーナー 防火防災クイズ(Q&A)	火災予防や防災のクイズにより、火災予防や防災の知識を習得します。	非常持ち出し品や備蓄品の展示、また防火防災クイズに答えて知識を習得します。	20分	消防署八幡出張所		
5	八幡出張所 市民体験コーナー DVD上映	火災予防や防災の映像を鑑賞し、火災予防や防災の知識を習得します。	火災予防や防災の映像を鑑賞し、火災予防や防災の知識を習得します。(36席あります。)	30分	消防署八幡出張所		
6	八幡出張所 市民体験コーナー 屋外訓練(放水,走行)	放水体験や、消防車の試乗を行い、消防への理解を深めます。	消防車を使った放水体験や見学、はしご車の高所体験などをします。	30分	消防署八幡出張所		
7	親子で学ぶ 防災スクール	親子で防災に関することを分かりやすく学び、災害への関心、知識を深めます。	地震体験、はしご車の試乗体験、消火訓練等、様々な体験、訓練を行います。	120分	消防署八幡出張所		